

棚田オーナー制度により、稲作体験からお米の大切さを実感

仰木自然文化庭園構想 八王寺組 はっちょじぐみ

1000年以上続く棚田を耕作放棄から守るための棚田オーナー制度を活用して、都市住民や学生を対象に農業体験等を実施。

棚田のある大津市上仰木地区は2020年5月、国の指定棚田地域に選定。

棚田オーナー制度の活用

棚田において、都市住民の子ども達に田植えから稲刈り、脱穀までの作業に携ってもらい、お米の大切さを実感。近隣の高校生、大学生も受け入れ。

参加者に満足していただけるように、体験時には、スタッフみんなが和気あいあいと活動し、重労働が多い田んぼで作業でも笑い声が聞こえてくるような雰囲気づくり。



田植えも楽しく

地域文化の伝承

刈り取った藁を使ったしめ縄づくり体験、地元の伝統食材の納豆餅作りを実施。



しめ縄づくり

地元住民の農業への再認識

高齢化が進み担い手不足の中、40歳代の後継者が農業離れしていたが、稲作体験により、農業を再認識し、田んぼに気持ちが向くように。